

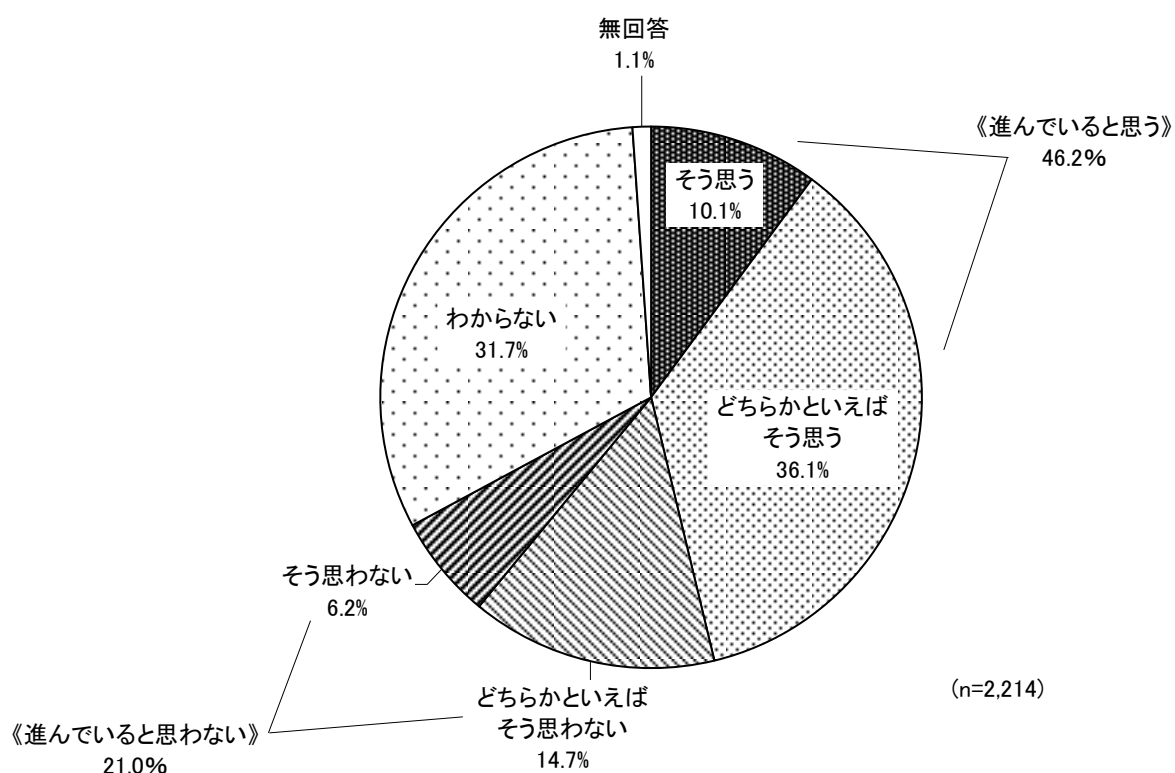
10. 多文化共生

(1) 区の多文化共生社会への進捗状況

◎《進んでいると思う》が4割半ば、《進んでいると思わない》が2割を超える

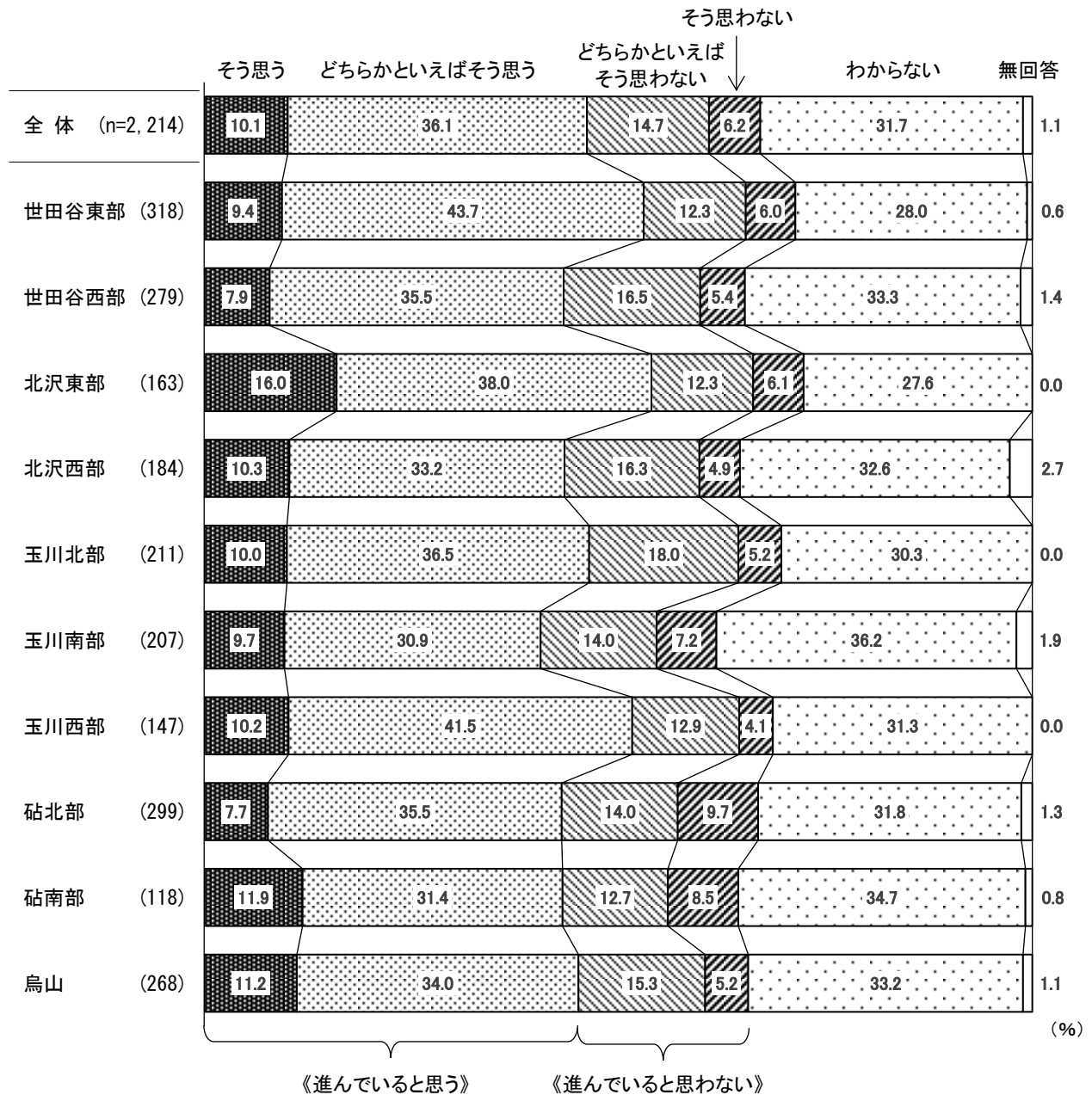
問30 あなたは、「外国人住民と日本人住民が共に暮らす」という視点からみて、世田谷区は多文化共生が進んでいると思いますか。(〇は1つ)

図10-1-1



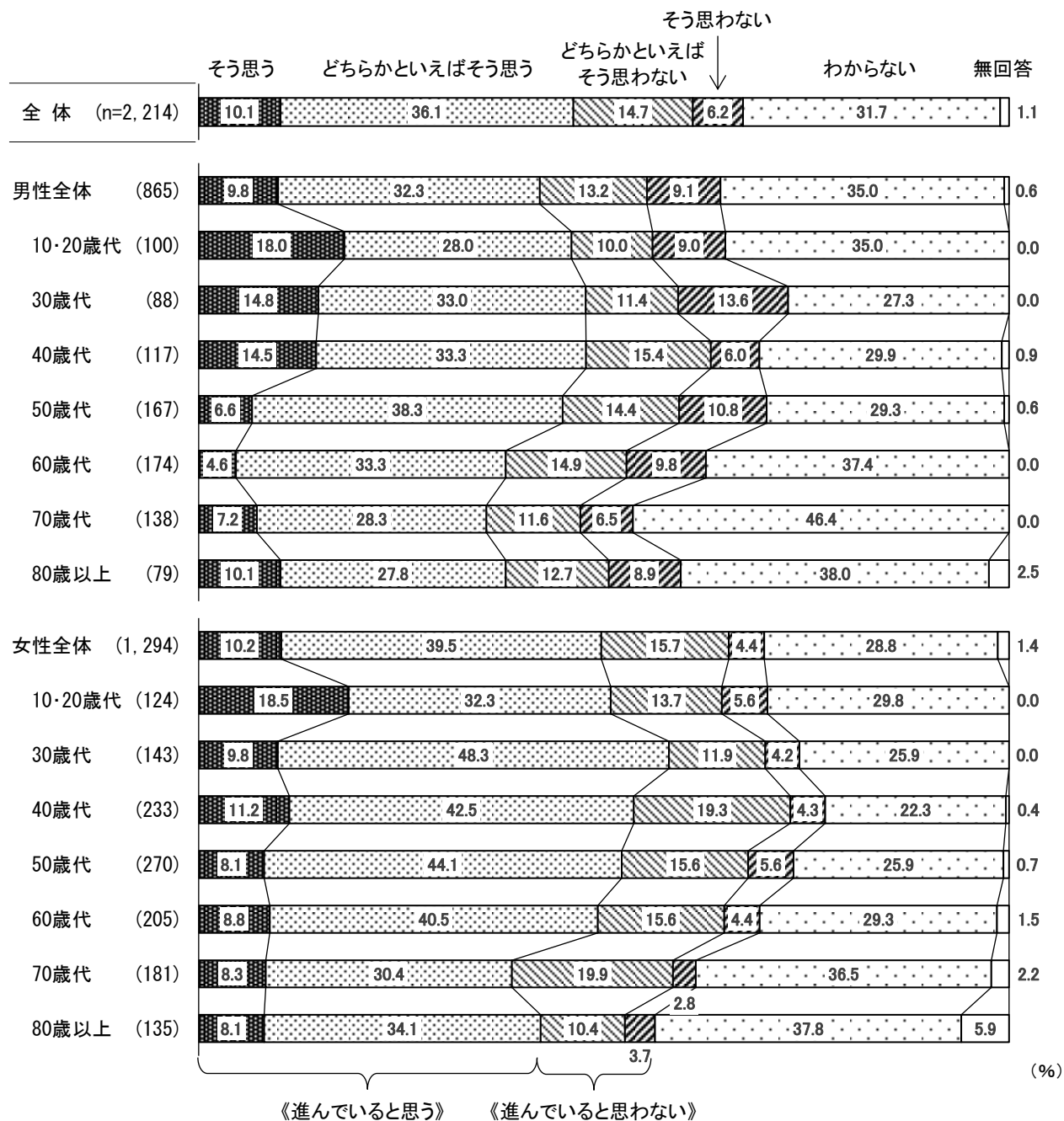
区の多文化共生が進んでいると思うか聞いたところ、「そう思う」(10.1%)と「どちらかといえばそう思う」(36.1%)を合わせた《進んでいると思う》(46.2%)が4割半ばとなっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(14.7%)と「そう思わない」(6.2%)を合わせた《進んでいると思わない》(21.0%)は2割を超えている。(図10-1-1)

図 10-1-2 区の多文化共生社会への進捗状況（地域別）



地域別にみると、《進んでいると思う》は北沢東部で5割半ば、世田谷東部、玉川西部で5割を超えている。《進んでいると思わない》は砧北部、玉川北部、世田谷西部、玉川南部、北沢西部、砧南部で2割を超えている。（図10-1-2）

図 10-1-3 区の多文化共生社会への進捗状況（性・年齢別）



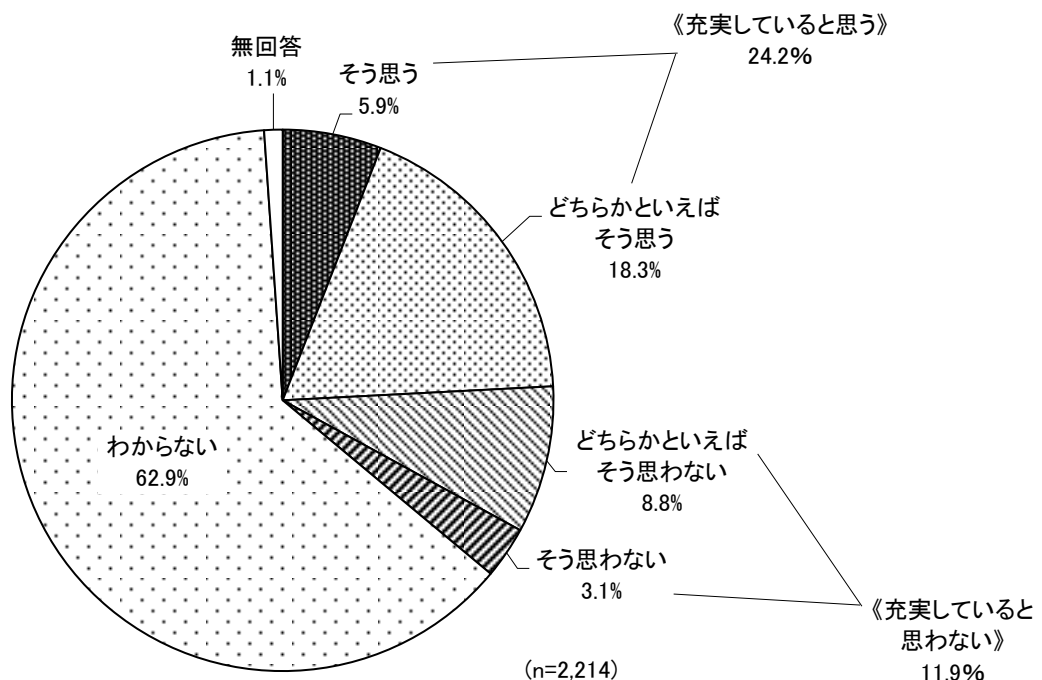
性・年齢別にみると、《進んでいると思う》は女性の30歳代で6割近く、女性の40歳代と50歳代で5割を超え、女性の10・20歳代と60歳代でほぼ5割となっている。《進んでいると思わない》は男性の30歳代と50歳代、60歳代で2割半ばとなっている。（図10-1-3）

（２）外国人等に対する生活支援の充実状況

◎《充実していると思う》が２割半ば、《充実していると思わない》が１割を超える

問３１ 区では、外国人等が安心して地域で生活するために、外国人相談窓口の設置や教育相談室の運営、住宅・就労に関する情報提供など、生活全般にわたっての支援を行っています。あなたは、外国人等に対する生活支援が充実していると思いますか。（○は１つ）

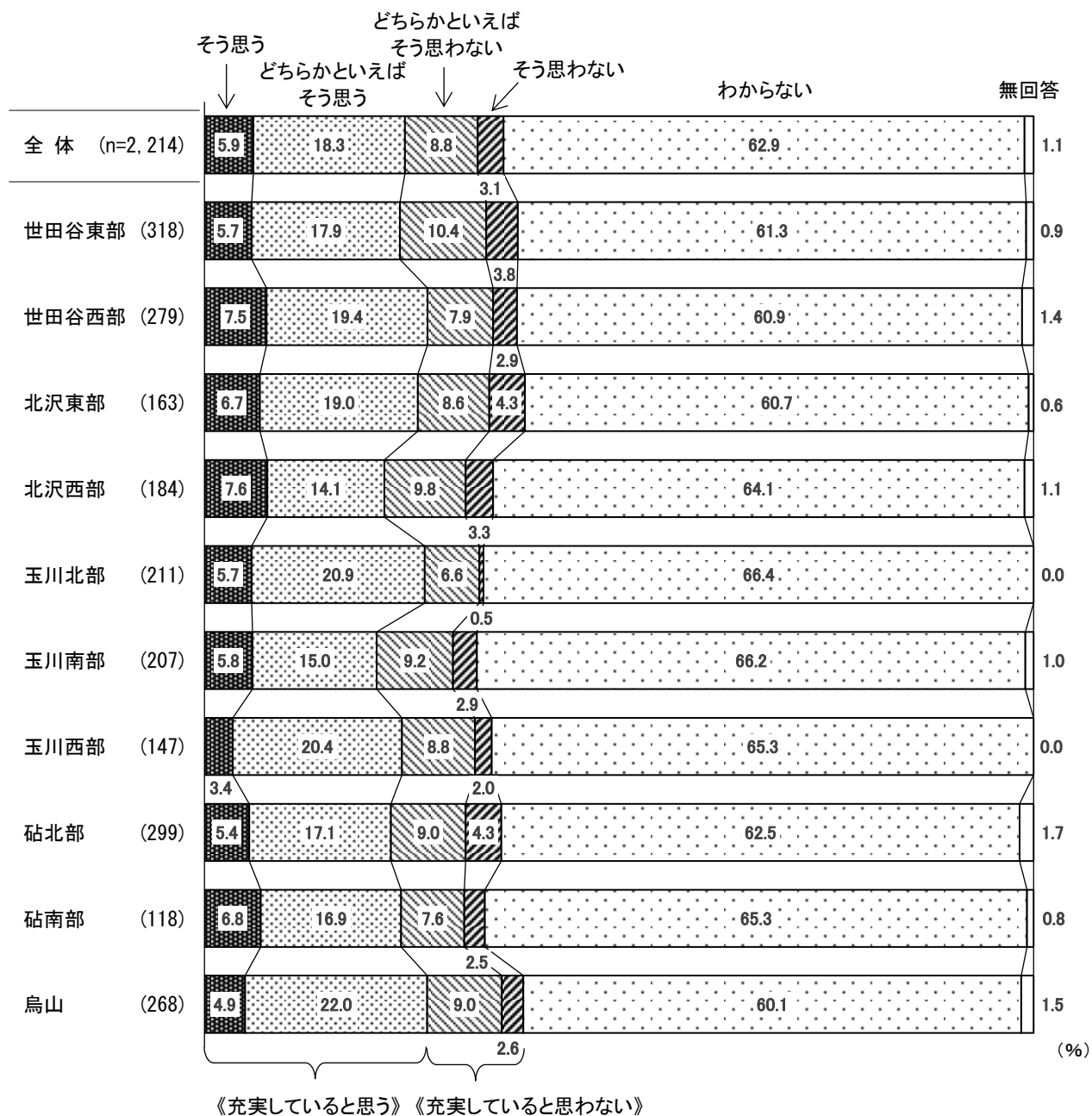
図１０－２－１



外国人等に対する生活支援が充実していると思うか聞いたところ、「わからない」（62.9%）が6割を超えて最も高い。「そう思う」（5.9%）と「どちらかといえばそう思う」（18.3%）を合わせた《充実していると思う》（24.2%）は2割半ば、「どちらかといえばそう思わない」（8.8%）と「そう思わない」（3.1%）を合わせた《充実していると思わない》（11.9%）は1割を超えている。

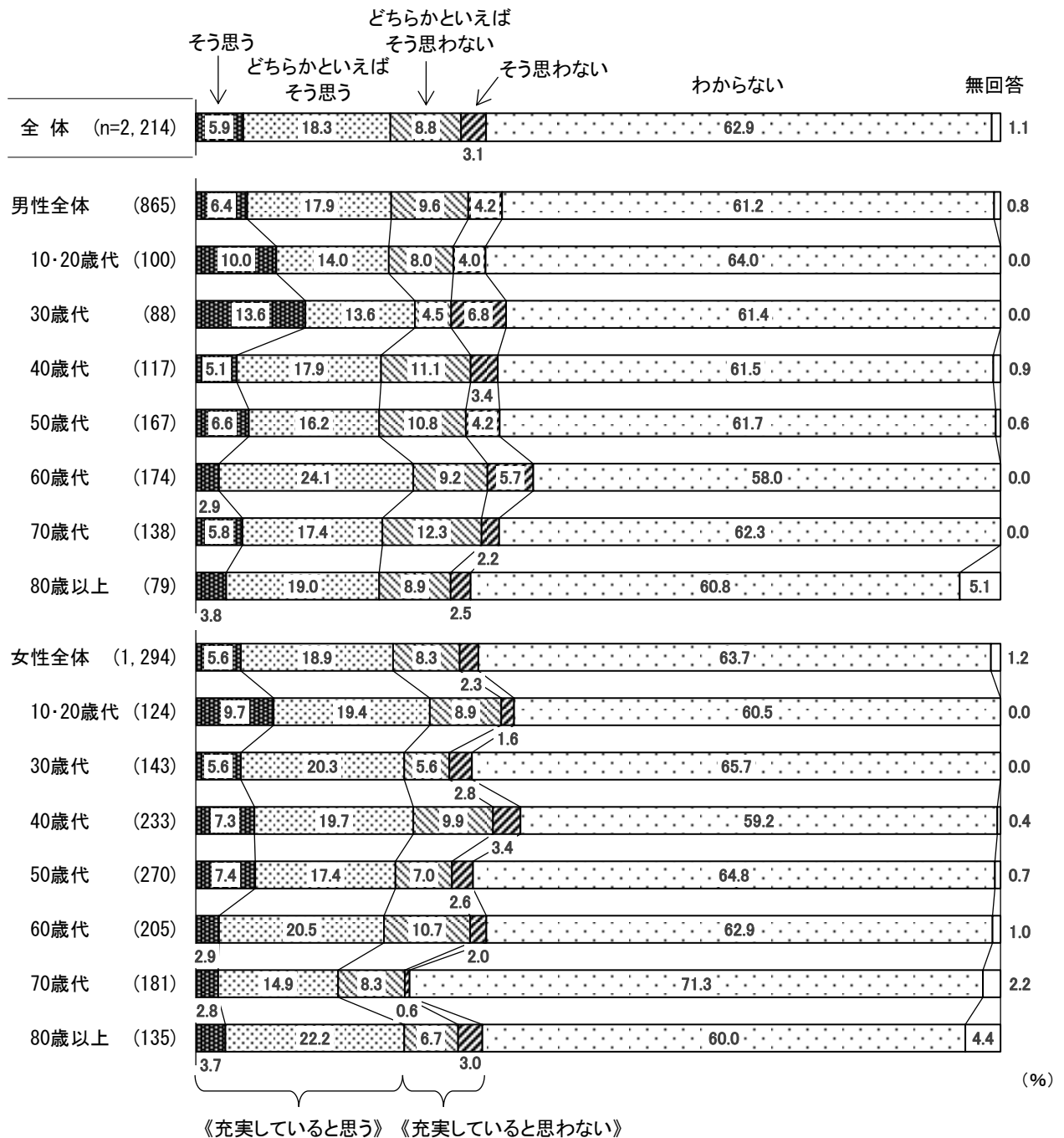
（図１０－２－１）

図 10-2-2 外国人等に対する生活支援の充実状況（地域別）



地域別にみると、《充実していると思う》は世田谷西部、烏山、玉川北部で3割近く、北沢東部で2割半ばとなっている。《充実していると思わない》は世田谷東部で1割半ばとなっている。「わからない」はすべての地域で6割台となっている。（図10-2-2）

図 10-2-3 外国人等に対する生活支援の充実状況（性・年齢別）



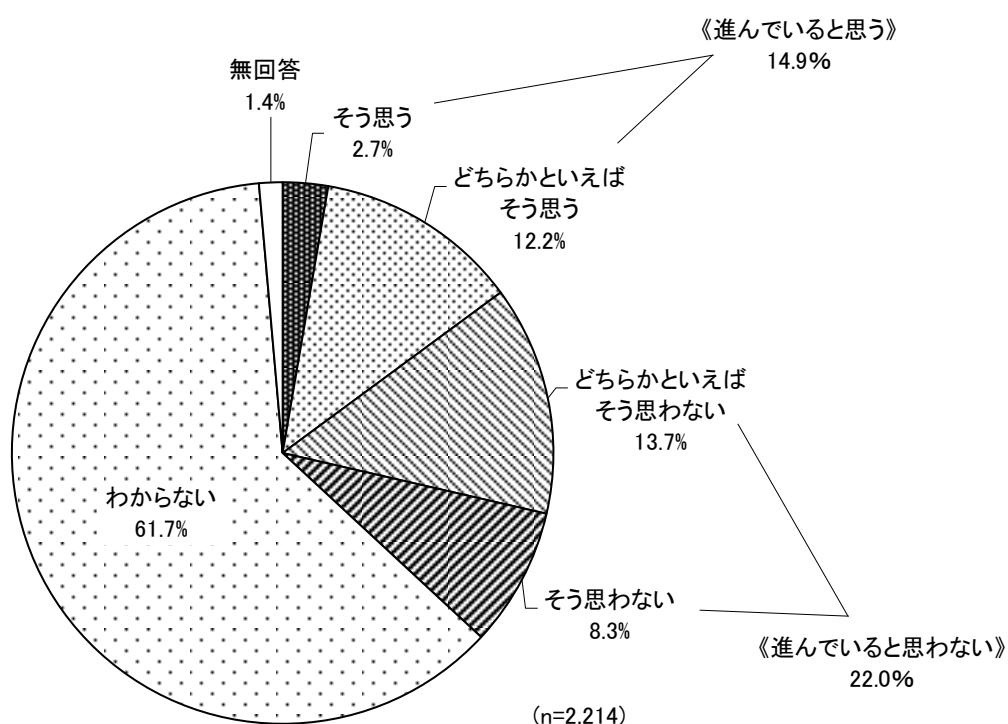
性・年齢別にみると、《充実していると思う》は女性の10・20歳代でほぼ3割、男性の30歳代と60歳代、女性の40歳代で3割近くとなっている。《充実していると思わない》は男性の40歳代～70歳代で1割半ばとなっている。「わからない」は女性の70歳代で7割を超え、男性の10・20歳代、女性の30歳代と50歳代で6割半ばとなっている。（図10-2-3）

（３）外国人等の地域活動への参加の進捗状況

◎《進んでいると思う》が１割半ば、《進んでいると思わない》が２割を超える

問３２ 区では、外国人等が地域住民の一人として地域社会に参加・活躍できるように、地域のおまつりや防災訓練、ボランティア活動などへの参加を促進しています。
あなたは、外国人等の地域活動への参加が進んでいると思いますか。（○は１つ）

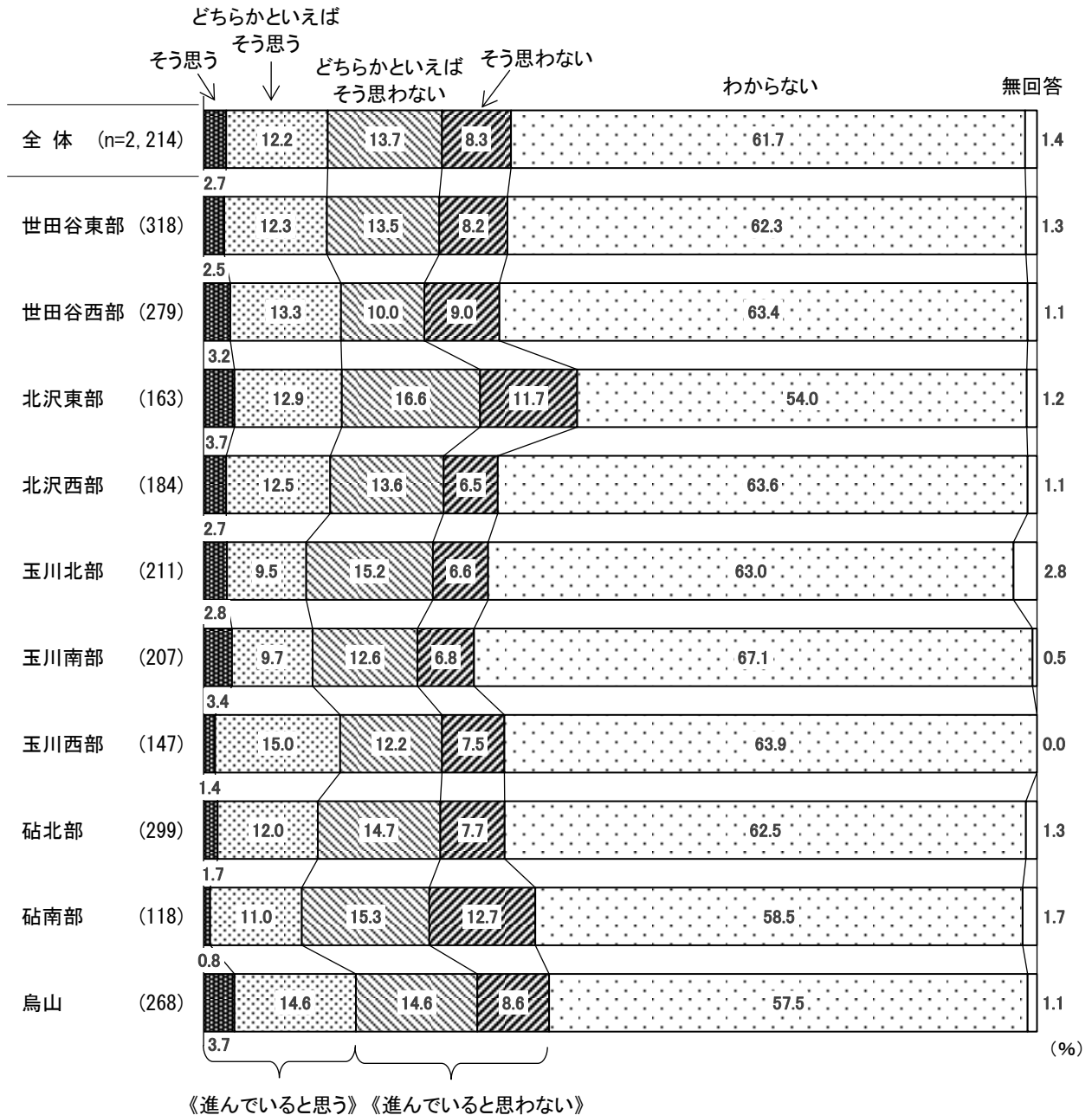
図１０－３－１



外国人等の地域活動への参加が進んでいると思うか聞いたところ、「わからない」（61.7%）が６割を超えて最も高い。「どちらかといえばそう思わない」（13.7%）と「そう思わない」（8.3%）を合わせた《進んでいると思わない》（22.0%）が２割を超え、「そう思う」（2.7%）と「どちらかといえばそう思う」（12.2%）を合わせた《進んでいると思う》（14.9%）は１割半ばとなっている。

（図１０－３－１）

図 10-3-2 外国人等の地域活動への参加の進捗状況（地域別）



地域別にみると、《進んでいると思う》は烏山、北沢東部、世田谷西部で2割近く、玉川西部、北沢西部、世田谷東部で1割半ばとなっている。《進んでいると思わない》は北沢東部、砧南部で3割近く、烏山、砧北部、玉川北部、世田谷東部で2割を超えている。「わからない」は玉川南部で7割近くとなっている。（図10-3-2）

どちらかといえば
 そう思う そう思う どちらかといえば そう思わない
 ↓ ↓ ↓ ↓
 思う 思う どちらかといえば 思わない わからない



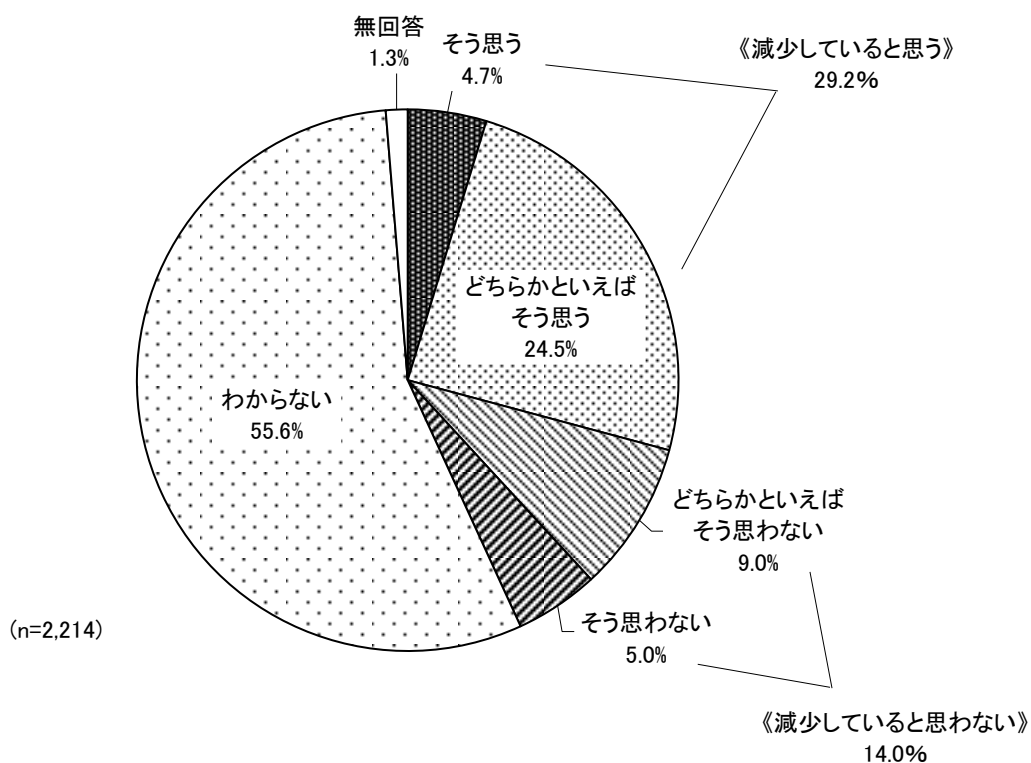
– 154 –

(4) 区内の外国人等への偏見や差別の改善状況

◎《減少していると思う》がほぼ3割、《減少していると思わない》が1割半ば

問33 区では、多様な文化を理解し合える交流イベントなどを開催し、区民一人ひとりが互いの文化について理解を深め、偏見や差別を解消することで、多文化共生社会の実現を目指しています。あなたは、区内において外国人等に対する偏見や差別が減少していると思いますか。(○は1つ)

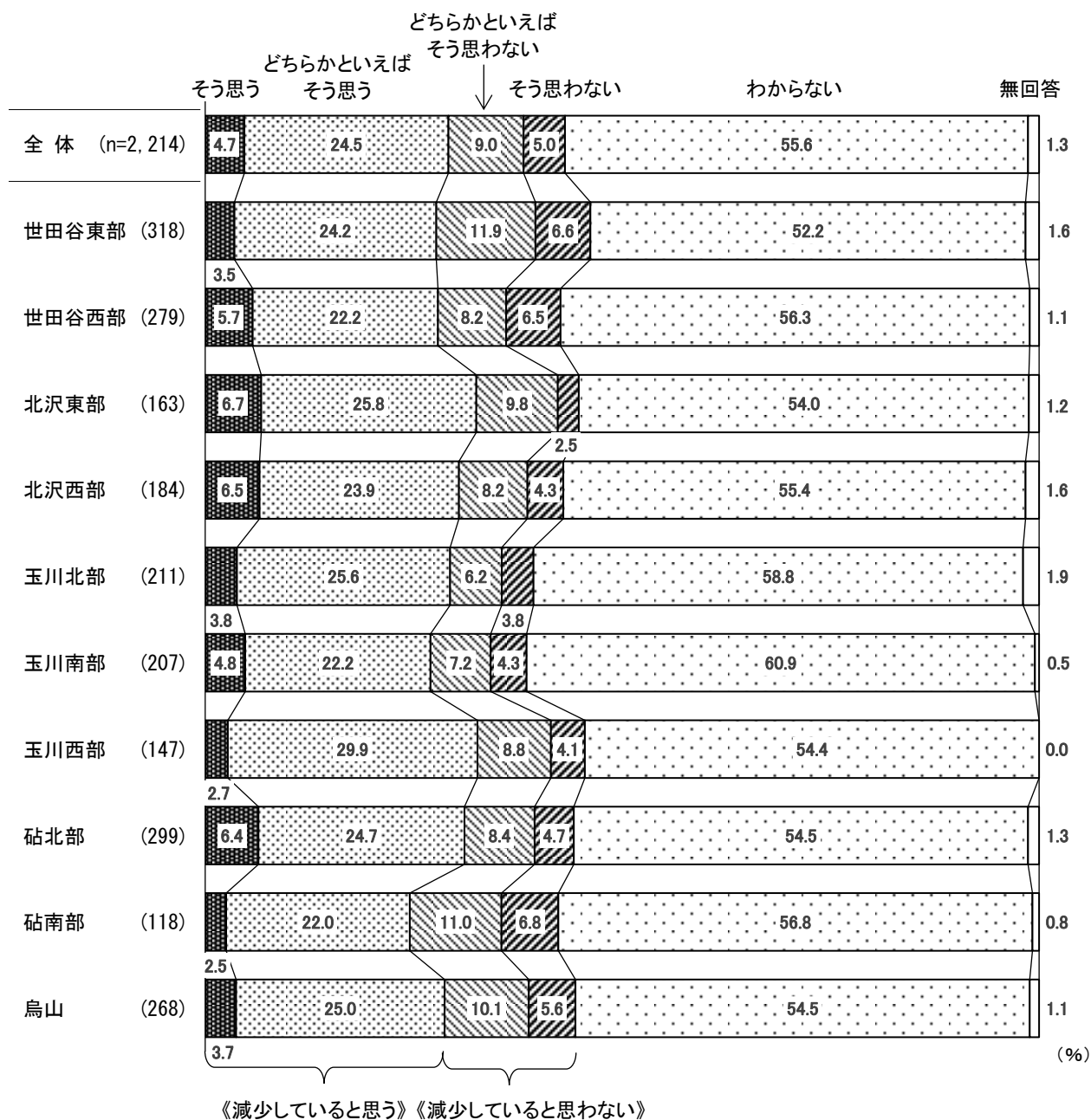
図10-4-1



区内の外国人等に対する偏見や差別が減少していると思うか聞いたところ、「わからない」(55.6%)が5割半ばで最も高い。「そう思う」(4.7%)と「どちらかといえばそう思う」(24.5%)を合わせた《減少していると思う》(29.2%)がほぼ3割、「どちらかといえばそう思わない」(9.0%)と「そう思わない」(5.0%)を合わせた《減少していると思わない》(14.0%)は1割半ばとなっている。

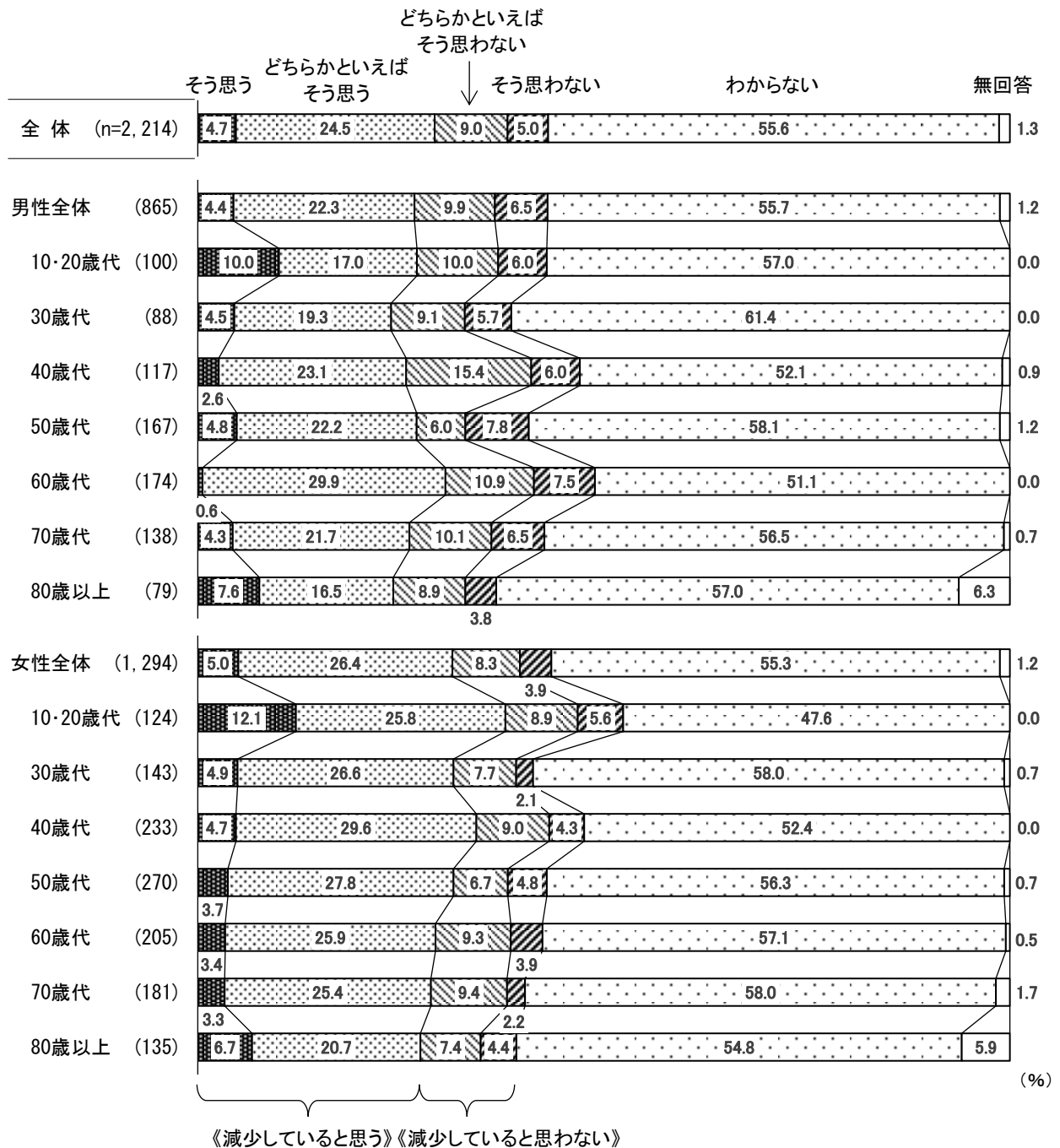
(図10-4-1)

図 10-4-2 区内の外国人等への偏見や差別の改善状況（地域別）



地域別にみると、《減少していると思う》は玉川西部、北沢東部、砧北部で3割を超え、北沢西部で3割、玉川北部でほぼ3割となっている。《減少していると思わない》は世田谷東部、砧南部で2割近く、烏山、世田谷西部で1割半ばとなっている。「わからない」は玉川南部でほぼ6割、玉川北部、砧南部で6割近くとなっている。（図10-4-2）

図 10-4-3 区内の外国人等への偏見や差別の改善状況（性・年齢別）



性・年齢別にみると、《減少していると思う》は女性の10・20歳代で4割近く、女性の40歳代で3割半ばとなっている。《減少していると思わない》は男性の40歳代で2割を超え、男性の60歳代と70歳代で2割近くとなっている。「わからない」は男性の30歳代で6割を超え、男性の10・20歳代と50歳代、70歳代以上、女性の30歳代と60歳代、70歳代で6割近くとなっている。

(図 10-4-3)